

## 令和5年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ヘゼリヒプライン

## 1. 就労継続支援B型事業・・・工房すぴか

## 1) サービス提供実績

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 年間開所日数               | 240日   |
| 予算(必達目標)             | 3,242名 |
| 提供実績                 | 2,987名 |
| (対予算 -255, 前年比 -155) |        |
| 1日あたりの提供数            | 12.5人  |



グラフ1:提供実績 30日平均の推移

## 2) 販売実績

| 販売実績(円) | 令和5年度     | 令和4年度     | 令和3年度     |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 委託販売    | 700,883   | 269,355   | 207,835   |
| 行政系イベント | 699,940   | 349,215   | 240,130   |
| 民間イベント  | 560,390   | 853,587   | 542,414   |
| ネット販売   | 69,630    | 49,500    | 11,374    |
| 工房物販    | 59,111    | 151,414   | 277,095   |
| 請負業務    | 176,000   | 47,571    | 0         |
| その他     | 39,510    |           |           |
| 卸売      | 27,060    |           |           |
| 収入合計    | 2,332,524 | 1,720,642 | 1,278,848 |
| 増加率     | +35.6%    | +34.5%    |           |

## 3) 工賃支給状況

|           | 令和5年度      | 増減       | 令和4年度      |
|-----------|------------|----------|------------|
| 工賃支払総額    | ¥1,506,325 | +252,835 | ¥1,253,490 |
| 延べ支払人数    | 255人       | -1       | 256人       |
| 平均通所人数    | 12.5人/日    | +0.1     | 12.4人/日    |
| 平均工賃      | ¥10,042    | (計算方法変更) | ¥4,896     |
| 工賃変動積立金残高 | ¥512,207   | +94,218  | ¥417,989   |
| 設備等整備積立金  | ¥0         | ±0       | ¥0         |

#### 4) 概況（カッコ内の番号は決算概況の解説）

##### サービス提供（就Bサービス）

- サービス提供目標に掲げた施策1（パンフレットの刷新）は実施しませんでした。また施策2（提供する作業や支援の幅を広げる）については、レクリエーションは再開しましたが、その他については実施しませんでした。理由は、法人運営の事業計画に掲げた組織づくりを優先したためです。
- 4月に新たなサービス管理責任者を迎え入れました。しかし欠如減算が4月分まで影響し、サービス提供も予算を下回ったため、対前年比で427万円減、対予算で669万円減の収入でした。(1)
- 人材面では、事務を一手に担っていた副施設長の退職がありました。しかし、在籍職員で業務分担することで人員補充はせず、人件費はほぼ予算通りでした。(4)
- 就B事業の経費では業務効率化と経費節減を狙った設備投資があり、また減価償却費の予算設定に誤りがあったため、対予算で105万増の支出となりました。(8)
- サービス管理では、新たな請求管理システムを導入することでリース代の削減と給付費請求手順の効率化を実現しました。また、請求データを元に請求内容一覧が自動的に作れる仕組みを構築し、利用状況の分析が効率的になりました。
- サービス提供については、毎日の支援を振り返る会議の効率化を図り、大切な議論に集中するようになりました。またレクリエーションやお泊り会を5年ぶりに復活したところ、利用者同士で気軽に話し合う姿を頻繁に見るようになりました。
- その他にも、各業務の手順書を整備したり、館内照明のLED化やエアコン設置、車両を購入したりして、働きやすい職場環境作りと経費節減を実現できました。

##### プロダクト製販（生産活動）

- 販売目標について、「新商品」はミニガーランド作りのワークショップや、スマホケースGと携帯ストラップを開発しました。「一般イベントへの参加」は好調でしたがワークショップを活かした集客には至りませんでした。「積極的な広報宣伝」についてはFacebook+Instagramで積極的に情報発信したところ、SNSを見て訪れる来客が増え、販売予定を把握したりピーターも増えました。
- 就労売上については、ネット販売の売上が微増でしたが、10月リリースの新商品と、平間至展（渋谷ヒカリエ）をはじめとする委託販売に助けられ、通年ではほぼ予算通りの売上でした。(2)
- 生産面では新商品のストラップで長距離の際縫いが必要になりましたが、ミシン作業に従事する利用者が一斉に練習を繰り返せるよう支援を続けた結果、全体的に縫製技術が高まりました。
- 工賃原資の増加分を12月～3月の賞与として利用者に支給し、また利用者の頑張りを反映する工賃規程への改定を案内したところ、突発的な欠席が激減して出勤率が向上しました。(グラフ1の3月以降の安定的な推移に現れています)
- 生産活動の経費では、システム更新に伴う備品購入等が生じた影響もあり工賃支給総額(9)は予算に至りませんでした。報酬改定による計算方法変更で平均工賃が10,042円に達しました。また積立金の繰入(10)で将来の売上変動に備え、就労支援事業会計として多少体質改善が為されました。

## 2. 法人運営

### 1) 財務について（カッコ内の番号は決算概況の解説）

- 大幅な収入減(3)と設備投資等(5)(6)(7)(8)による支出増により経常収支は 452 万円の赤字(11)で、欠損金は 949 万円となりました。一方、現預金は融資 550 万円のお陰で人件費 6 ヶ月分あり危機的状況には至りませんが、業界全体の賃金改善や、今後の物価変動も踏まえた実質賃金の向上を考えると未だ十分な蓄えと言えないため、引き続き財務体質の改善が必要です。
- 昨年度総会で承認頂いた通り 1 2 月 1 日付けで法人名が変わりました。ゲゼリヒでも、ベゼリヒでもなく「**ヘゼリヒプライン**」です。広く親しまれる企業イメージを狙った名称ですが、名実ともに**”居心地の良い広場”**になるよう研鑽に努めます。今後ともよろしくお願いいたします。

### 2) 人財や体制について

- 建設的な議論を確実に重ねる職場環境の整備に集中しました。具体的には、これまで培ってきた業務手順の整備を徹底して、各担当の役割を明確にし、有機的に連携する会議体を設定し、各分野における成果の“見える化”に努め、モノと情報の所在を整理整頓しました。
- この改善によって議論の質と量が高まり、各担当による自律的な業務遂行が可能になったため、人員の補充がなくとも少数精鋭で連帯した事業運営ができました。また各自が担当分野で恐れずに業務改善するなど、自主的に専門性を発揮する姿も頻繁に見られるようになりました。

### 3) 総会の開催

#### ○ 通常総会

書面表決： 令和 5 年 6 月 7 日まで返信（“全会員の合意”は得られず、みなし総会不成立）

総会開催： 令和 5 年 6 月 9 日(金) 15：00～16：30

開催場所： 法人本部

総会員数： 16 名、 出席者数： 14 名（うち表決委任者 9 名）

### 4) 役員体制・・・ 計 4 名 （令和 6 年 3 月 31 日現在）

理事長 （1 名） 竹樋秀康 （常勤）

副理事長 （1 名） 星野公延 （非常勤）

理事 （1 名） 横谷聡一 （非常勤）

監事 （1 名） 地主雅史 （非常勤）

### 5) 職員体制・・・ 計 5 名 （令和 6 年 3 月 31 日現在）

フルタイム 2 名、パート 3 名

### 6) 事業所・・・ 1 事業所 （令和 6 年 3 月 31 日現在）

- 工房すびか （就労継続支援 B 型事業所） 宮城野区新田 1 丁目